

緑のセンターだより

NO. 129 平成21年12月1日発行

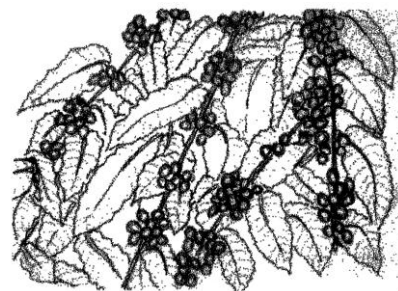
発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

コーヒー

Coffea arabica

アカネ科 コーヒーノキ属

普段コーヒーをいただいても、インスタントなのか熟成焙煎されたものかの区別もつかないコーヒー音痴がコーヒーについて語るのはおこがましいかもしれませんが、この優雅な飲み物の歴史、種類、産地について、身の回りで見出した話題を取り上げてみます。



コーヒーを世界で最初に飲んだのは誰だったのでしょうか。遠く6世紀から8世紀の頃、エチオピアからアラビア半島のアラブ人に伝わり、彼らを通して中東・イスラム世界へ広まったとされています。15～16世紀になって、密教教団などで強い覚醒効果を修行の助けにするため飲用した様子が残されていますが、アルコールの飲用に似た効果のあるコーヒーは、イスラム教などの宗教団体では飲用の是非について取りざたされ、飲用は排斥されたこともあるそうです。1454年にアデンの法学者がイスラム法学上の見解で「飲用は合法」と判断し、数十年にわたる論争を経て飲用を認めその後中東圏に広く愛飲されるようになりました。

日本には天明年間に長崎の出島にオランダ人が持ち込み、1804年(文化元年)、大田南畝の書に、「焦げ臭くして味ふるに堪ず」とありますので、間違いなくコーヒーを飲んだのでしょうか。1888年(明治21年)、上野に聞かれた【可否茶館】が日本で初めてのコーヒーショップと言われています。

コーヒーの種類や名称は非常に多くありますが、それらのほとんどがアラビアコーヒー(*Coffea arabica*)を主体とした種類です。植物学的に命名された品種は8種類ありますが、栽培品種もあって、樹勢、樹形、果実の大きさ、熟期の早晩性、生産性といった違いでしかないことから、栽培種(産地名)を品種名とするのが一般的とされています。(T.K.)

品種	産地、特徴
ブラジルサントス	ブラジルのサントス港より輸出。ブラジルコーヒーとして最上級とされる。
コロンビア	コロンビア産出。粒が大きく芳香が良い。特にメデリンは有名。
モカ・マタリ	イエメンのベニマタ産。ショートベリーといわれる小粒豆。モカは元の集散港。
モカ・ハラリ	エチオピア、ハラール地方産。アラビカ種の実産地。カファ地方では野生種が採れる。
キリマンジャロ	タンザニア産。強い酸味と芳香に優れる。キリマンジャロの中腹以下で栽培。
ブルーマウンテン	ジャマイカ産。英国王室御用達コーヒーとして有名。ストレートでブレンドテイスト。
ジャワ	インドネシア産。ロブスタ種でブレンド増量用として重用する。
ハワイコナ	ハワイ、コナ島産。強い酸味と野性的な風味がある。数年寝かせ枯らす。

12 月の 園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

◆正月を飾る鉢植えを作ろう！

冬将軍が来て屋外では草花も枯れ、樹木も落葉して殺風景になりました。これからは屋内で花や緑を育ててくつろぎの時間を過ごしたいものです。やがて迎える正月には新年に相応しい縁起植物の鉢植えを作って床の間や玄関に飾ってみましょう。

[松竹梅盆栽 本格的な正月飾り]

器材 楕円浅鉢、鉢底網、赤玉土、石、化粧砂

植材 マツ、タケ、ウメ、ナンテン、ヤブコウジ、フクジュソウ、セキショウ、コケ

作り方 鉢底に網を敷き、ゴロ土を薄く入れて主木のウメとマツをやや中央に対峙して配置し、軽く土を入れ左右にタケとナンテンを添えるように配置します。更に軽く土を入れ、前後にフクジュソウとセキショウを配置し、全体に軽く盛るように土を入れ、軽く押えてから灌水し、植材の隙間にコケを張り空いた部分と周囲に化粧砂を敷き、再度灌水して出来上がりです。植え付けの手順、方法、盆栽の樹形などに決まりはありません。作る人の個性を十分に出して、その家に相応しい松竹梅を作りましょう。



入れて中央部に主木のマンリョウ(またはセンリョウ)を植え、軽く土を入れて周囲にポインセチア、ハボタンなどを添えるように植えます。残った部分に土を入れ灌水して出来上がりです。鉢の色によって表面にコケや化粧砂を敷くと引き立つこともあります。

[福を呼ぶ草木寄せ植え]

植材 アリドオシ(一両)、ヤブコウジ(十両)、カラタチバナ(百両)、センリョウ(千両)、マンリョウ(万両)、金のなる木、幸福の木

作り方 それぞれの木を身分、希望に合わせて作るのも夢があって楽しいものです。

[春を告げる草木の単植]

植材 ウメ(春告草)、フクジュソウ(元日草)、フキノトウ

作り方 植材とつりあいの取れた中深鉢や深鉢に1株を植えて元日に花を咲かせるのも、おめでたくて楽しいです。ウメは12月10日頃、フクジュソウやフキノトウは12月の初旬に植えつけて加温を始め、元旦に花が咲くように温度を調節していくのがコツです。

[和の草木の寄せ植え]

器材 陶磁またはプラスチックの中深鉢、赤玉土、石柱

植材 マンリョウまたはセンリョウ、ポインセチア、シロタエギク、ナンテン、ハボタン、プリムラ

作り方 鉢にゴロ土を入れ、更に土を2～3cm

◆鉢植えオモトの冬の管理

オモトは、初霜の音が聞かれるようになったら屋内へ入れます。

置き場所 半休眠状態になりますので、温度は 0～15℃くらいで低めに、光は強い陽光または暗黒は好ましくありません。窓越しに入る薄明かりぐらいが適当です。湿度は、やや湿りがちのほうが良いでしょう。

水やり 湿りを好む植物です。鉢は常に湿りがちになるよう、鉢の表面が乾き始めたら灌水します。置き場所にもよりますが、1～2 週間に 1 回がめどです。

肥料 冬期間はほとんど休眠状態のため、施肥は控えます。

病害虫 通常はあまり発生しませんが、乾燥気味に管理するとカイガラムシ、ハダニなどが発生することがありますので、拭き取り、殺虫剤を散布します。湿りがちに管理するとクモノスカビ、ケカビなどが発生することがあります。このような場合は、風通しを良くし、数時間光に当てると消えます。

実が赤く熟したものは床の間、玄関などに置いて正月を迎えるのも風情があります。

チュウ害に
ごチュウ意！

野ネズミによる庭木の食害を防ごう

雪解け後、大事な花木や果樹の根株の皮がはがされているのを見たことはありませんか。これは、エゾヤチネズミに食われた跡で、よく見ると歯形がついています。とくに雪が多く雪解けが遅れた年に多く見られます。

野ウサギは積雪より上の部分を食えますが野ネズミは積雪の下すきまで草や木の皮を食べます。養分や水が移動する通導組織が食べられるため、樹木にとって大きな痛手となりますので防除につとめましょう。

《 どんなネズミがどんなところに住んでいるのか 》

北海道には家ネズミが 3 種(ドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミ)と野ネズミが 4 種(アカネズミ・ヒメネズミ・エゾヤチネズミ・ミカドネズミ)が生息していますが、樹木に被害を与えるのは、野ネズミの仲間ではほとんどがエゾヤチネズミの仕業です。野ネズミ 4 種の体型や生活様式はそれぞれ違い、“棲み分け” “食いわけ”をしています。

エゾヤチネズミは草原性のネズミといわれ、緑草を主食としているため、植生がよく繁茂したところ、とくにササ類の群生地に多く生息していますので、山際の住宅地は要注意です。その名のとおおり乾燥地より、湿地・谷地を好み、雪が積もっても穴を掘って地面で行動します。

《 なぜ樹皮を食べるのか？ 》

エゾヤチネズミは雪解け間もなく繁殖が始まります。このネズミはやわらかく栄養豊富な草を食べ、20 日ほどの妊娠期間を経て、1 回に 6～10 頭の子を生みます。やがて成長し 1 か月で成獣となり、今度は自分の子を産みます。これが“ネズミ算”の繁殖の仕組みです。

春と秋の繁殖によって数を増やしたネズミは、冬の間きびしい寒さや少ない食べ物で、なんとか生きのびるのですが、大雪で雪解けが遅くなると、腹をすかしたネズミが雪のすき間をぬって餌をさがし樹木の皮をかじるのです。好き嫌いはあるが、かじらない木はないといわれ、お腹がすくと嫌いな木も食べてしまいます。

《 ネズミ害の防ぎ方 》

- ① 餌となる草の刈り取りや巣の材用となる枯れ草、落ち葉などを樹木の周囲から取り除き、ネズミの行動しやすい溝やくぼ地を重点的にきれいにします。樹木の幹をワラやムシロで冬囲いする場合は、巣の材料になりやすいので 30cm ほど上から巻くようにします。
- ② 幹にアルミ箔、ポリやビニール、プラスチックなどすべすべしたものを巻きネズミが登れないようにします。ペットボトルの上下を切り取り筒状にし、縦に一本切り込み幹にはめ込むのも有効です。また、金網・ホイルラス・トタンなどで囲むのもよい。
- ③ 食害は最も餌が不足する 2～3 月で、地表付近では雪解けが進み、空洞になるので根元を踏み固めネズミが通りにくくするのも一つの防除法です。
- ④ トラップを木の周りやネズミの通り道になりそうなところに配置する。最も安全で捕獲が確認できます。
- ⑤ 薬剤もありますが、ペットの多い都会では誤食もありおすすめできません。

* 林野における「エゾヤチネズミの発生情報」は道立林業試験場のホームページから検索することができます。

12月～1月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
正月用ミニ盆栽を作ろう	12月12日（土）	13:30	11月11日～	材料費 3,000 円
シンビジウムの育て方	1月24日（日）	〃	1月11日～	無料
展示会				
クリスマス展	12/1（火）～25（金）		豊平公園花とハーブの会	入場 無料
アザレア展	2/16（火）～28（日）			
クラフト講習会				
自然素材でリースを作ろう	12月6日（日）	10:00	11月11日～	1,500 円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日	料金
クリスマスディスプレイ	11/24(火)～12/13(日)	入館料 130 円
みかんなどの柑橘展	1/13(水)～2/7(日)	〃
市民ラン展	1/26(火)～31(日)	〃

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※

冬のまちに
スノーキャンドルの灯りをともそう！
2010



2010. 1. 16(土)
16:30 点灯予定

このイベントは、参加してくれるみなさんが色々なメンバーで集まり、近くの「公園」やその他の場所で、みんなで「スノーキャンドル（雪で作った行燈の中にロウソク）」を作り、同じ日の同じ時刻に、灯りをともそうというものです。2003年の開始から8回目となる2010年は『2010. 1. 16/16:30』です。

参加対象は、公園を管理してくれている皆さんはもちろん、町内会・子ども会など、学校・PTAなど、市民活動団体・サークル・なかよしグループなど・・・どんなかたちでもかまいません。

近くの「公園」やその他の場所で、みんなで「スノーキャンドル」に灯りをともしてみませんか。

～参加申し込み・お問い合わせは～

◆◆冬のまちスノーキャンドル実行委員会◆◆

URL http://park.geocities.jp/sapporo_candl/

e-mail sapporo_candl@yahoo.co.jp (携帯メールからもOK!)

<事務局> NPO 法人 公園ねっとわーく

TEL 090-8630-7737